

第4回豊和村づくり協議会報告

2018年11月4日

事務局：椿

<参加者>

環境保全会、飯塚分区、高坂（SOSAプロジェクト理事）、豊和地区社協、豊葉会、農業委員、青少年相談員、Tree little birds、匠瑛ソーラーシェアリング、市民エネルギーちば

1 テントの購入について

○大きさは学校とも相談して2間×4間に決定

○市内業者に見積もり価格は323,000円、他業者見積りが214,758円

＊開きが大きいので市内業者ではなく他業者で購入する。

○市と大寺地区に相談した結果、市の防災倉庫に保管する。倉庫の鍵は、小学校と大寺区が管理している。

2 11月4日の開畑のゴミ拾い作業について

○当該エリアの草刈り作業ができていないため、草刈り作業として実施。

○小学生への呼びかけは、今回は行わない。

○SOSAプロジェクトを通じて地域外への呼びかける。

＊市外（県外）から10数名がボランティアで参加予定。

○小学校を含めた「ゴミ清掃活動」については、状況を見た上で、来年1月下旬で計画する。

○作業終了後に県外参加者と地元の参加者、移住者との交流を兼ねて食事会（豚汁とおにぎり等）をメガソーラー前の広場（畑）で実施。基金から1～3万円の範囲で補助する。

3 「ソーラシェア収穫祭」について

○収穫祭の内容について、チラシを元に説明がされた。

○主催者から予算見込みが約90万円であること、基金からの補助としてできれば45万円という要望があり金額について協議した結果、豊和地区内の全世帯（約560世帯）に額面500円の券付きのチラシを配っていることを踏まえてその分約30万を下限として収穫祭の収支状況を見ながら決めることになった。

4 豊和地区社会福祉協議会の「ふれあいバスハイク事業」について

○基金助成金の交付申請が出され、前回確認どおり26万円を交付した。

＊事業としては来年以降も通年的に取り組まれる予定とのこと。

5 子ども御輿の法被について

○豊葉会より法被を10枚購入したいのと要望が出された。見積り額は259,200円。

○全額を基金から拠出することにした。

6 廃食油回収事業について

○千葉県環境保全活動の補助事業として使用済み天ぷら油の回収の取組みを進めていくこ

ととなった。概要は以下のとおり。

- ①協議会として助成金を申し込む。期限は、11月中。
- ②回収ステーションの設置費用は全て助成される。
- ③設置場所としては、ふれあいパーク八日市場、コメリ、農協の豊和支店、エービン等が
あがり、場所の確定に向けて調整を進めることになった。

7 「村づくり通信」の名前の募集

- 次号（12月はじめに発行予定）で名前を募集する。対象は豊和地区内の全員。
- 応募された名前から5つを候補として選び、協議会で検討して決める。
- 候補となった名前（応募者）については、商品を出す。3～5千円の商品券が案として出ている。ふれあいパーク八日市場で使える商品券という案もあり。

8 その他の提案、検討事案について

以下の取組み、事業が提案され、さらに検討してもらい具体化した時点で検討する。

- ①ソーラーシェアリング発電設備の非常電源としての活用
 - ・災害時などの大規模停電時にソーラーシェアリングで発電された電気地域に開放し、スマホや電気自動車への充電に活用する。そのための、管理方法をどうするか。
 - ・協議会が管理するのか、市や地域で行うのか。
- ②SOSAプロジェクトの取り組んでいる「空家マッチング」への支援
 - ・豊和に移住したいという人はかなりいるが提供してもらえる空家が不足している。そのために、やむなく豊和以外や市外に移ってきた人も多い。
 - ・具体的な事業計画を出してもらってどんな支援が可能か検討していく。
 - ・とりあえずは、次号の村づくり通信で空家募集の記事を載せて呼びかける。

9 その他

- ①次回協議会 1月12日 午後6時